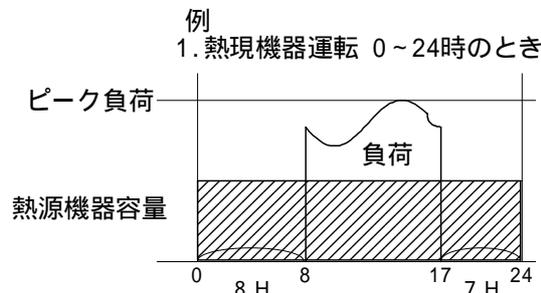


蓄熱槽

熱源機器容量HR[kcal/h]の決定、蓄熱槽容量V[m3]の決定

	数値代入		備 考
	冷房	暖房	
冷房 / 暖房	-	0	空調時間が9時から17時迄で余冷、余熱時間が1時間の場合。 冷房 $H = 2(1.5Q9 + Q12 + Q14 + Q16)$ 暖房 $H = 9Q$ 熱源機器容量HR[kJ/h] $HR = \frac{K6 \cdot H}{n1}$ n1[h]：熱源の運転時間 K6：K6=1.1損失係数
9時空調熱負荷Q9[kJ/h]	0	-	
12時空調熱負荷Q12[kJ/h]	0	-	
14時空調熱負荷Q14[kJ/h]	0	-	
16時空調熱負荷Q16[kJ/h]	0	-	
熱源運転時間数n1[h]	0	0	
熱源機器容量HR[kJ/h]	#DIV/0!	#DIV/0!	$V[m3] = \frac{n2[h] \cdot HR[kcal/h] - Qn}{1000 \cdot \Delta t \cdot s}$ 下記グラフ参照 蓄熱槽利用温度差 $t=7$ (仮定) 蓄熱運転時間数：n2[h] n2 = 非空調時間 + 熱源機器容量より負荷が小さい時の時間 s：蓄熱槽効率
蓄熱運転時間n2[h]	0	0	
蓄熱運転時間内に発生する空調負荷がある場合、その合計Qn[kJ/h]	0	0	
蓄熱槽数n	0~9	▼	
蓄熱槽容量V[m3]	#DIV/0!	#DIV/0!	

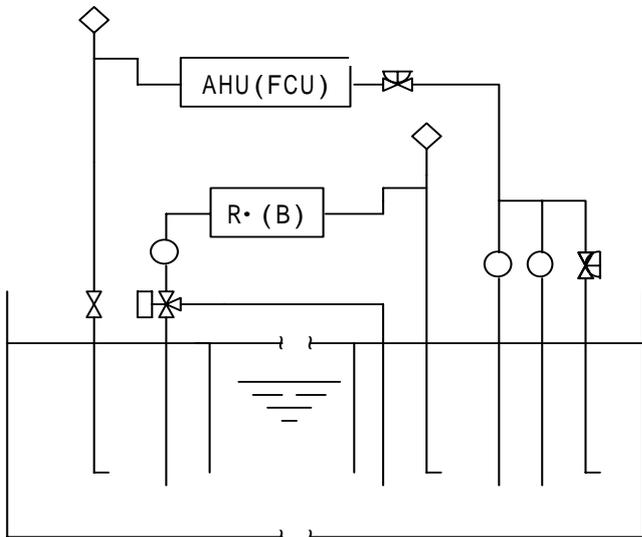
[参考データ]



槽数 n	蓄熱槽効率 s
10槽未満	0.70
10~15槽未満	0.75
15槽以上	0.80

■：熱源運転時間 n2 = 24

蓄熱運転時間 n1 = 8 + 7 = 15



標準水温条件

	熱源機器	二次側機器
冷水出口	6 ~ 7 []	14 []
" 入口	11 ~ 12 []	7 []
温水出口	45 []	37 []
" 入口	40 []	44 []

注：2次ポンプ実揚程が50[mm]を超える場合は、熱交換器を使用、空調機側配管は密閉回路とする。